

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 （ 学 術 ）	氏名 Author	佐久間 智子
学位授与の要件	学位規則第 4 条第①・2 項該当		

論文 題 目 Title of Dissertation

半自然草地における植物相の変容と草原生植物の種特性

論文審査担当者 Dissertation Committee Member

主 査 Committee Chair	広島大学大学院国際協力研究科	特任教授	中越 信和	印 Seal
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授	山本 春行	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	准教授	保坂 哲朗	
審査委員 Committee	広島大学大学院理学研究科	教授	山口 富美夫	
審査委員 Committee	広島大学大学院生物圏科学研究科	教授	中坪 孝之	

〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review

本研究は、かつて広域に成立していた西日本の半自然草地における植物相と草原植物群落の構成植物の変化（変容）を追跡調査したものである。調査地に選定した本州西部の中国山地においては、1950 年代から植物相や植物群落の科学的調査が行われてきたこと、またその調査を実施した研究者たちから調査方法や調査地の詳細情報（例えば、調査年月日や調査方形区的位置など）を直接詳細に聞き取ることができたことがこの研究の価値を高めている。研究の結果、当半自然草地が半世紀以上の時間の経過の中でどのような変容をしてきたかが、草原生の種の動態などからも解明できた。この成果は、著しく面積的に減少した半自然植生の保護や草原生の絶滅危惧植物の保護に役立てることを可能にした。本人は、このような半自然草地を草原生植物のリフュージアと呼んでいるが、大變的確な記述である。

論文は全 5 章から構成され、それぞれ 1 章：序論、2 章：西中国山地における半自然草地の植物相、3 章：低山地山頂部の半自然草地における草原生植物の生育状況、4 章：資源利用の停止が半自然草地の植生構造と構成種への影響、5 章：全章を総括した「総合考察」となっている。

平成 31 年 1 月 17 日 16 時 20 分から 60 分間、総合科学部 K303 号教室において公開の学位論文公聴会を行った。論文発表 40 分、討論 20 分で審査委員全員の出席のもとで行われた。参加者は総数 18 名であった。討論では、主査を含む審査委員全員の個別の質問にすべての確な回答があった。引き続き同じ教室で非公開の論文審査会を行った。その際、3 名の審査委員から論文内容の一部について、修正の要求があり、学位論文提出までに行うこととなった。修正の確認は主査が行うことに決まった。1 月 27 日に、本人から主査に修正された学位論文が送られてきた。主査は修正が完了していることを確認した。

本論文の 1 章の一部と 2 章、1 章の一部と 3 章については、すでに査読制のある学術論文に合計 3 本の論文として公表されている。1 章の一部・4 章・5 章の一部については、1 本の論文として英文論文を国際誌に投稿し、現在審査中である。

以上、本審査会での論文修正も完了したことから、本論文の著者は博士（学術）の学位を授与される十分な資格があるものと、審査委員全員で認めた。